

# 県職連合結成10周年・県職労結成70周年記念式典を開催

## 県職労運動構築の労をねぎらい感謝状を贈呈

「専従者・11人」「中執・支部役員・21人」「書記・4人」



▲功労者表彰式典の様子



▲式典で挨拶する小野委員長

▲功労者へ感謝状を授与する小野委員長

### 野中県本部委員長らがお祝いの言葉

6月10日、サンセール盛岡(盛岡市)において、岩手県職員連合労働組合結成10周年・岩手県職労労働組合結成70周年記念式典、功労者表彰式と記念レセプションを開催した。記念式典は、1997年から2016年の間の役員に対し、専従者功労者表彰(11人)、中央執行委員・支部役員表彰(21人)、書記功労者(4人)が受賞され、表彰式には19人が出席。引き続き、開かれた記念レセプションには、来賓で、船山整自治労本部総組局長、齋藤健市連合会長や達増拓也岩手県知事等のご列席を受け、135人が出席した。

功労者表彰式典は、小野中央執行委員長が執行部を代表しあいさつ。その後表彰者一人一人に賞状と記念品を渡した。式典では、来賓の野中靖志自治労岩手県本部委員長、来内広幸全労済岩手県本部長からお祝いのご挨拶を受けた。

【専従者功労者】  
■県職労第26代中央執行委員長 佐々木 恭司  
■県職労第27代中央執行委員長 只野 和夫

【中央執行委員】  
■中央執行委員 佐藤 伸一  
■中央執行委員 平 中 清人  
■中央執行委員 千 葉 佳 幸  
■中央執行委員 伊 藤 貢

【支部役員表彰】  
■盛岡支部 小田嶋 智昭  
■盛岡支部 千 葉 佳 幸  
■盛岡支部 佐々木 和 弘  
■盛岡支部 中 村 康 之  
■盛岡支部 吉 美 智

【書記功労者】  
■書記功労者 八重樫 明美  
■書記功労者 中 野 悦 美  
■書記功労者 阿 部 修 一  
■書記功労者 藤 原 明 子



▲佐々木敏男退職者会会長の発声で乾杯(レセプション)



▲祝辞を述べる達増拓也県知事

## 県職連合10周年・県職労70周年 記念レセプション

### 先輩からのエール 組織に結集した取り組みが大事

記念式典・レセプションは、オープニングに県職労バンド(代表伊沢昌弘氏)の生演奏により開会した。引き続き、小野中央執行委員長が「県職労の結成は1946年に結成して以来70年を迎えた。県職労は、人事委員会勧告完全実施に向けストライキによるたたかいや工業技術センターの独立化に対しては県職連合を立ち上げ、組合員の生活を守り、たたかてきた」とあいさつ。続いて、来賓の船山整自治労本部総組局長(山形県職労出身)、齋藤健市連合岩手会長(自治労出身)、来内広幸全労済岩手県本部長(県職労出身)からあいさつを頂いた。また、お祝いのご挨拶

野中靖志平和環境岩手県セクター議長(県職労出身)、砂金良昭東北労働金庫岩手県本部長、小西和子社会民主党岩手県連合代表(岩教組出身)から頂いた。

その後、受賞者を代表して、第27代中央執行委員長 只野和夫氏より後輩への激励を受けた。只野氏は、「組合活動の思い出は身分差別制度の撤回闘争だった。高卒初級は主事補、技師補からの身分があり、事務吏員と技術吏員になるには、試験を受け合格しないとそれまで起業者になれなかった。試験制度撤廃など身分制の見直しを仲間と組合で取り組んだ」として、これからも県職労という「組織」に結集して取り組む必要性を伝えた。

また、達増拓也岩手県知事からは、「県職員が日頃から県政推進に尽力していることには感謝する。県職員は、高卒初級は主事補、技師補からの身分があり、事務吏員と技術吏員になるには、試験を受け合格しないとそれまで起業者になれなかった。試験制度撤廃など身分制の見直しを仲間と組合で取り組んだ」として、これからも困難な課題があっても運動をがんばって欲しい、私も一組合員として支えていきたい」と今後に向けての激励を受けた。

最後に、小野中央執行委員長が、団結ガバローを三唱し、式典・レセプションは盛会裏に終了した。

野中靖志平和環境岩手県セクター議長(県職労出身)、砂金良昭東北労働金庫岩手県本部長、小西和子社会民主党岩手県連合代表(岩教組出身)から頂いた。

その後、受賞者を代表して、第27代中央執行委員長 只野和夫氏より後輩への激励を受けた。只野氏は、「組合活動の思い出は身分差別制度の撤回闘争だった。高卒初級は主事補、技師補からの身分があり、事務吏員と技術吏員になるには、試験を受け合格しないとそれまで起業者になれなかった。試験制度撤廃など身分制の見直しを仲間と組合で取り組んだ」として、これからも困難な課題があっても運動をがんばって欲しい、私も一組合員として支えていきたい」と今後に向けての激励を受けた。

最後に、小野中央執行委員長が、団結ガバローを三唱し、式典・レセプションは盛会裏に終了した。



▲オープニングでの県職労バンド演奏の様子



▲人員・賃金課題の改善に向けて団結ガバロー

【一面より】  
に対応出来ない実態も聞く。本部としても丁寧な課題を集約し対応していく。

・支部・分會体制の強化のため、運動方針で専従経験者によるオルガナイザー組織の新設を提起することにしており、組織財政強化委員会の答申から1年越しとなったが、取組を開始していきたい。

【専従部・藤村代議員】  
・不妊治療の休暇制度の拡充を新たに要求している。不妊治療は心身のストレスに左右される面もあり、加重労働の解消も重要な問題。また、休暇が拡充されても、例えば所属長によっては2人目の出産のための不妊治療を認めない等の不適切な対応策。

・所屬長でも各種休暇制度の理解がなく、不適切な対応策。

・住居確保の観点も含めて人事異動対策を講じるとしているが、他県と同様に人

事異動のブロック制導入を検討すべきでは。本部役員は専従者確保策はどうなっているか。

・書記局の体制強化、特に各種共済制度への組合員への説明や相談などの充実が必要である。ベテラン書記退職後の対策の強化を、交通機関利用の手当改善となったが、依然として満額ではない。気を緩めず満額支給に向けて取組の強化を、退職手当引下げの当局交渉状況と今後の見通しは、政治闘争に当たり、推薦決定した議員の活動報告の充実と議員の政策の検証が必要であると考える。

【答 弁】  
・エリア採用は秋田では導入している。課題としては賃金等の処遇の格差が発生する懸念もあるため、慎重な議論も必要など、引き続き検討する。

・4月の総務部長着任交渉時には、今年度中の一定の方向性の整理を要請した。当局姿勢はまず他県の動向を調査し、その結果を踏ま



齋藤代議員 宮古支部



藤村代議員 県庁支部



菊池代議員 県庁支部



中村代議員 二戸支部

・政治闘争に当たり、推薦決定した議員の活動報告の充実と議員の政策の検証が必要であると考える。

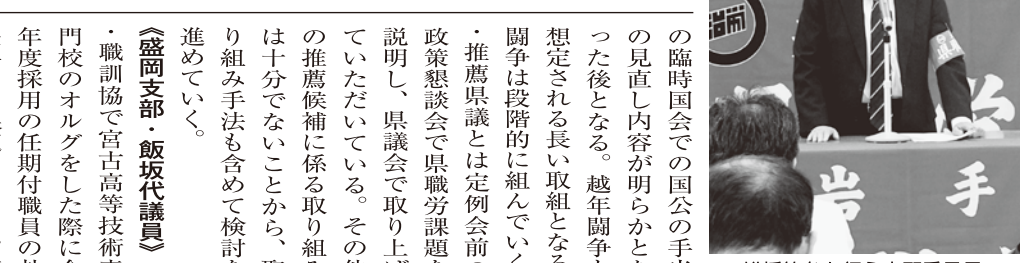
【答 弁】  
・エリア採用は秋田では導入している。課題としては賃金等の処遇の格差が発生する懸念もあるため、慎重な議論も必要など、引き続き検討する。

・4月の総務部長着任交渉時には、今年度中の一定の方向性の整理を要請した。当局姿勢はまず他県の動向を調査し、その結果を踏ま

えて協議することにして、今年の確定闘争の課題となる。今年度の確定闘争の課題となる。今年度の確定闘争の課題となる。

・臨時国会での国公の手当の見直し内容が明らかとなった後となる。越年闘争も想定される長取組となる。闘争は段階的に組んでいく。推薦決議とは定例会前の政策懇談会で県職労課題を説明し、県議会を取り上げていただいている。その他の推薦候補に係る取組は十分でないことから、取組み手法も含めて検討を進めていく。

【盛岡支部・飯坂代議員】  
・職訓協で宮古高等技術専門校のオルグをした際に今年度採用の任期付職員の出任手当の課題を伺った。復興支援のために採用された職員への手当支給の水準として、通常の新採用職員と同様の水準では十分でない。具体的な交渉は秋



佐々木代議員 一関支部

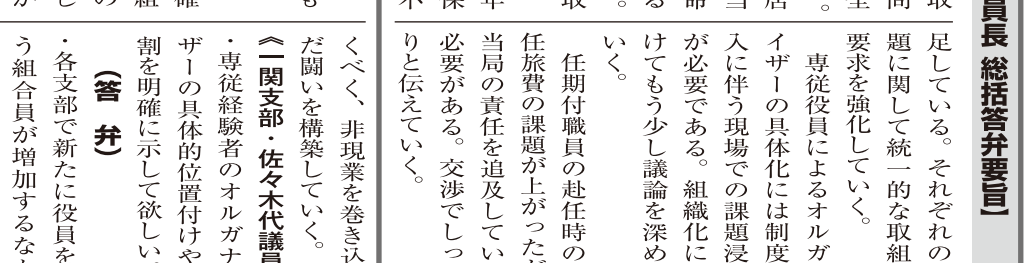


飯坂代議員 盛岡支部

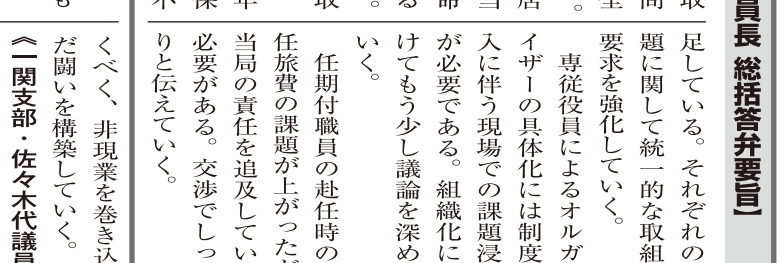
・赴任旅費水準の見直しも趣旨に即対応していく。

【県庁支部・山口代議員】  
・運転技士・守衛の人員確保は職場を巻き込んだ取組を進めていきたい。土木の運転技士も必要性は評価しつつも人員配置にはつながらない。人員確保に向けて本部での取組強化を。

【答 弁】  
・運転技士・守衛の現業職員の確保のため、職場課題として一層取組を進めてい



伊藤代議員 宮古支部



山口代議員 県庁支部

くべく、非現業を巻き込んだ闘いを構築していく。

【一関支部・佐々木代議員】  
・専従経験者のオルガナイザーの具体的位置付けや役割を明確に示して欲しい。

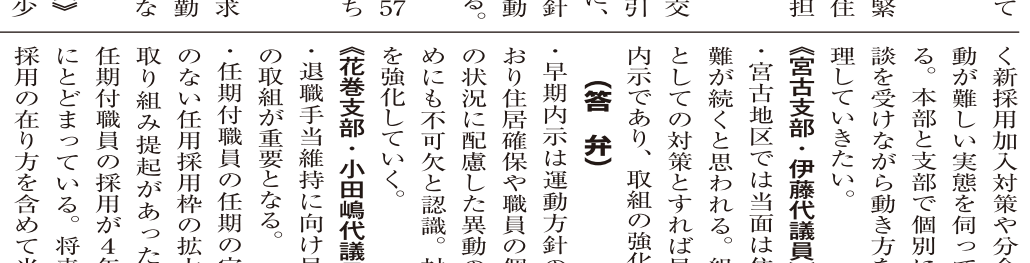
【答 弁】  
・各支部で新たに役員を担う組合員が増加するなか、支部での運動課題の学習と各要求行動の実践のために専従経験者によるフォロー体制を構築するもの。具体的な位置付けや活動内容の詳細は、内諾頂ける専従経験者から伺いたい。

【答 弁】  
・今年度の現業専従自要求の課題として号の追加、勤勉手当での運用上の工夫などを新たに要求していく。

【県庁支部・佐々木代議員】  
・県庁支部では組合員が少なく、新採用加入対策も組合員が少ない分、採用の在り方を含めて当局を追及すべき。さらに復興期間が終盤を迎えるが、地方財政確立の取組強化を。

【答 弁】  
・退職手当阻止に向け早期の取組を進めるべく、今回署名を提起した。早期に反対の姿勢を当局に突き付けていく。

・任期付職員は任期の定めのない職員は選挙採用の課題は代議員の課題認識の通り追及していく。併せて、地方財政確立に向けて、県本部と連携して6月県議会での意見書提出を検討しており、並行して進めていく。



及川代議員 盛岡支部

・赴任旅費水準の見直しも趣旨に即対応していく。

【県庁支部・山口代議員】  
・運転技士・守衛の人員確保は職場を巻き込んだ取組を進めていきたい。土木の運転技士も必要性は評価しつつも人員配置にはつながらない。人員確保に向けて本部での取組強化を。

【答 弁】  
・運転技士・守衛の現業職員の確保のため、職場課題として一層取組を進めてい

・赴任旅費水準の見直しも趣旨に即対応していく。

【一関支部・佐々木代議員】  
・専従経験者のオルガナイザーの具体的位置付けや役割を明確に示して欲しい。

【答 弁】  
・各支部で新たに役員を担う組合員が増加するなか、支部での運動課題の学習と各要求行動の実践のために専従経験者によるフォロー体制を構築するもの。具体的な位置付けや活動内容の詳細は、内諾頂ける専従経験者から伺いたい。

【答 弁】  
・今年度の現業専従自要求の課題として号の追加、勤勉手当での運用上の工夫などを新たに要求していく。

【県庁支部・佐々木代議員】  
・県庁支部では組合員が少なく、新採用加入対策も組合員が少ない分、採用の在り方を含めて当局を追及すべき。さらに復興期間が終盤を迎えるが、地方財政確立の取組強化を。

【答 弁】  
・退職手当阻止に向け早期の取組を進めるべく、今回署名を提起した。早期に反対の姿勢を当局に突き付けていく。

・任期付職員は任期の定めのない職員は選挙採用の課題は代議員の課題認識の通り追及していく。併せて、地方財政確立に向けて、県本部と連携して6月県議会での意見書提出を検討しており、並行して進めていく。

### 第118回 労働組合



総括答弁を行う小野委員長

【小野中央執行委員長 総括答弁要旨】  
退職手当引下げ反対の取組み及び任期付職員の問題はぜひ職場課題として全分会の決議をお願いしたい。大会発言では沿岸部の住居確保の課題が上がった。当局の内示が遅く、異動を命令する以上、不利益を被ることはあつてはならない。諸手当の負担解消も含め取組を強化する。

運転技士の現場力で昨年の国体は成功しており確保は必要である。交渉でしっかりと伝えていく。

任期付職員の赴任時の赴任旅費の課題が上がったが、当局の責任を追及していく必要がある。交渉でしっかりと伝えていく。

くべく、非現業を巻き込んだ闘いを構築していく。

【一関支部・佐々木代議員】  
・専従経験者のオルガナイザーの具体的位置付けや役割を明確に示して欲しい。

【答 弁】  
・各支部で新たに役員を担う組合員が増加するなか、支部での運動課題の学習と各要求行動の実践のために専従経験者によるフォロー体制を構築するもの。具体的な位置付けや活動内容の詳細は、内諾頂ける専従経験者から伺いたい。

【答 弁】  
・今年度の現業専従自要求の課題として号の追加、勤勉手当での運用上の工夫などを新たに要求していく。

【県庁支部・佐々木代議員】  
・県庁支部では組合員が少なく、新採用加入対策も組合員が少ない分、採用の在り方を含めて当局を追及すべき。さらに復興期間が終盤を迎えるが、地方財政確立の取組強化を。

【答 弁】  
・退職手当阻止に向け早期の取組を進めるべく、今回署名を提起した。早期に反対の姿勢を当局に突き付けていく。

・任期付職員は任期の定めのない職員は選挙採用の課題は代議員の課題認識の通り追及していく。併せて、地方財政確立に向けて、県本部と連携して6月県議会での意見書提出を検討しており、並行して進めていく。

・赴任旅費水準の見直しも趣旨に即対応していく。

【県庁支部・山口代議員】  
・運転技士・守衛の人員確保は職場を巻き込んだ取組を進めていきたい。土木の運転技士も必要性は評価しつつも人員配置にはつながらない。人員確保に向けて本部での取組強化を。

【答 弁】  
・運転技士・守衛の現業職員の確保のため、職場課題として一層取組を進めてい

・赴任旅費水準の見直しも趣旨に即対応していく。

【一関支部・佐々木代議員】  
・専従経験者のオルガナイザーの具体的位置付けや役割を明確に示して欲しい。

【答 弁】  
・各支部で新たに役員を担う組合員が増加するなか、支部での運動課題の学習と各要求行動の実践のために専従経験者によるフォロー体制を構築するもの。具体的な位置付けや活動内容の詳細は、内諾頂ける専従経験者から伺いたい。

【答 弁】  
・今年度の現業専従自要求の課題として号の追加、勤勉手当での運用上の工夫などを新たに要求していく。

【県庁支部・佐々木代議員】  
・県庁支部では組合員が少なく、新採用加入対策も組合員が少ない分、採用の在り方を含めて当局を追及すべき。さらに復興期間が終盤を迎えるが、地方財政確立の取組強化を。

【答 弁】  
・退職手当阻止に向け早期の取組を進めるべく、今回署名を提起した。早期に反対の姿勢を当局に突き付けていく。

・任期付職員は任期の定めのない職員は選挙採用の課題は代議員の課題認識の通り追及していく。併せて、地方財政確立に向けて、県本部と連携して6月県議会での意見書提出を検討しており、並行して進めていく。

・赴任旅費水準の見直しも趣旨に即対応していく。

【一関支部・佐々木代議員】  
・専従経験者のオルガナイザーの具体的位置付けや役割を明確に示して欲しい。

【答 弁】  
・各支部で新たに役員を担う組合員が増加するなか、支部での運動課題の学習と各要求行動の実践のために専従経験者によるフォロー体制を構築するもの。具体的な位置付けや活動内容の詳細は、内諾頂ける専従経験者から伺いたい。

【答 弁】  
・今年度の現業専従自要求の課題として号の追加、勤勉手当での運用上の工夫などを新たに要求していく。

【県庁支部・佐々木代議員】  
・県庁支部では組合員が少なく、新採用加入対策も組合員が少ない分、採用の在り方を含めて当局を追及すべき。さらに復興期間が終盤を迎えるが、地方財政確立の取組強化を。

【答 弁】  
・退職手当阻止に向け早期の取組を進めるべく、今回署名を提起した。早期に反対の姿勢を当局に突き付けていく。

・任期付職員は任期の定めのない職員は選挙採用の課題は代議員の課題認識の通り追及していく。併せて、地方財政確立に向けて、県本部と連携して6月県議会での意見書提出を検討しており、並行して進めていく。